

子ども会 栃木

2019.2
第12号



CONTENTS (ご案内)

- ・会長あいさつ 1
- ・子ども会活動報告 4～7
- ・第52回 全国子ども会育成中央会議・研究大会 1
- ・第51回 関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会(栃木大会)特集 2～3
- ・県子連事業報告 7

子ども会栃木第12号は、昨年栃木県で開催された関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会特集を掲載しました。

表紙の写真は、県内各地域の子ども会活動の様子です。



「自信」

一般社団法人 栃木県子ども会連合会
会長 内藤 進

子ども達一人一人が、自立し自律でき、自信を植え付ける方法を模索し実践してきましたが、自己肯定感を高めることが自信を高める大きな要因になることを知りました。

自己肯定感を高めるキーワードは、★「褒める・認める（自分の力を実感させる）」
★「よさを見付ける（多様な価値観に気付かせる）」
★「可能性を広げる（色々な体験をさせる）」
★「励ます（目標を持たせる）」
★「かかわる（安心・安全を伝える）」等が挙げられます。

このキーワードを網羅し、そして異年齢集団活動を加えた体験活動を実践していただければと思います。

それを体験できる一つの事例として、キャンプ体験活動を提案したいと思います。

この活動は、参加した子ども達、運営する育成者・指導者、参画するジュニアリーダーの皆さん、この三者を成長させる場を提供してくれるでしょう。

様々な体験活動があります。それらをうまく取り入れて、子ども達が自信を付けて活動が終了することを期待したいです。

各種大会、研修会を通して各自がスキルアップを計り、その成果を県子連、市町子連、単子子ども会育成会に反映させて頂ければと思います。自分磨きをして、それを周りの皆さんに分けてあげて下さい。

本年度も県子連役員・指導委員、市町子連・単子の皆さんと手を携えて、子ども会・育成会を、より良い組織、より楽しい組織にしていきたいと考えます。

昨年10月の初頭に、「第51回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会」が本県で開催されました。私の感想が、県子連HPのEメール通信に掲載されていますので、是非読んでいただければと思います。

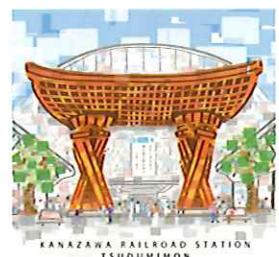
本年もどうぞ宜しくお願い致します。

《第52回 全国子ども会育成中央会議・研究大会 開催》

石川県金沢市で平成最後の「第52回 全国子ども会育成中央会議・研究大会」が平成31年2月23日（土）から25日（日）の2泊3日の行程で石川県立音楽堂コンサートホールを会場に盛大に開催されました。

本大会には、内藤会長以下12名の方々が各分科会に参加して他県の方達と活発な意見交換を行い今後の栃木県子連での活動に活かす気持ちを新たにしました。

また、本大会では足利市青少年育成会連絡協議会々長の古川克美さんが指導者・育成者表彰の栄誉を受けられ奥様へは感謝状が授与されました。



関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会(栃木大会)

平成30年9月30日(日)～10月1日(月) ロイヤルホテル 那須

平成20年の第41回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会(栃木大会)では、“輝け!! 育成会”を大会スローガンに開催して10年がたちましたが、今年度の関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会(栃木大会)では“もっと輝け!! 育成会”を大会スローガンに会場も同じ栃木県那須町の「ロイヤルホテル 那須」で第51回 関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会(栃木大会)が、平成30年9月30日(日)から10月1日(月)にかけて、栃木県子ども会連合会の運営で開催されました。

大会初日は、非常に強い台風24号の北上に伴い一時はどうかと心配されましたが、関東甲信越静地区に参加している10県をはじめご来賓、オープニング発表団体他のみなさま347名の参加を得て、開催する運びとなりました。

大会は、栃木県北部の大田原市野崎地区にあります温泉神社例大祭(毎年10月の第2日曜日)で奉納される栃木県無形民俗文化財に指定されている「城鉦舞(しろくわまい)」の発表からはじまりました。

花笠をかぶって鉦打ちをするのは、地元小学校の女の子たちが担当して伝統芸能の継承がされています。

開会式では、主催者を代表して関東甲信越静地区子ども会育成連絡協議会の内藤会長ならびに公益社団法人 全国子ども会連合会の河本会長のあいさつからはじまりご来賓のみなさまからのご祝辞を頂戴いたしました。



記録的な暴風の恐れも

台風24号 予想される最大瞬間風速

地方	あす(1日)まで
四国・近畿・東海	60メートル
関東甲信	50メートル
九州北部・北陸 伊豆群島・東北	45メートル
九州南部・北海道・中国	35メートル



功労者表彰では、
宇都宮市子ども会連合会々長 山口 康夫さん、
益子町子ども会育成会連絡協議会々長の川田 進さんが受賞されました。



関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会(栃木大会)は、2年前の平成28年7月に栃木県子連の中に「関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会実行委員会」を立ち上げ延べ22回に亘る会合を重ねて新たな試みを運営に取り入れました。

一つは、大会参加者のみなさんへの新しい切り口での問題提起をすることにしました。

問題提起の手法として、日頃の育成会・子ども会活動で体験したり経験したことを「育成会活動・子ども会活動でのあるある!」として、朗読劇で参加者のみなさんへ投げかけを行いました。



もう一つは、分科会を年代別で開催し朗読劇で投げかけた問題に対して、意見交換をしていただき気付きその1（改善点の認識）、気付きその2（改善目標）、気付きその3（行動指針）を参加者各自が作り上げて地元へ持ち帰り今後の活動に活かしてもらうようにしました。



専門的分科会としては、ユースリーダーを対象に「ユースリーダーとして目指す子ども会活動」をテーマにして、この目標にどのようにアプローチしていくかを話し合っていました。



さらに、関プロ地区の安全啓発指導者の分科会として、子ども会活動における安全対策が「子ども会KYT活動」から「安全啓発活動」に変わったことを受けて、「資格者講習会のあり方」「KYTの基本的な相違」「今後のあり方」の3点について、初級、中級、上級指導者のみなさんで話し合っていました。

情報交換会は、ギタリストの矢後 憲太氏によるアコースティックギターの生演奏がおこなわれました。各テーブルを回るうちに懐かしい顔を見つけると各所で近況報告に花が咲いていました。



二日目は、各分科会で行われた活発な意見交換の内容について、報告が行われ分科会での研究協議内容を知り地域でのさらなる活躍を新たにしました。



閉会式では、内藤会長のお礼のあいさつに続き静岡県子連への関プロ開催旗の引継ぎが行われ静岡県子連を代表して、喜瀬川会長のあいさつで1泊2日に亘る関プロ栃木大会の幕が下りました。

関プロ栃木大会を無事開催することができたのは、栃木県子連加盟のみなさまのご協力をいただいたことが大きな力となっております。

栃木県子連広報紙をお借りして、ご協力をいただいたみなさま一人ひとりに心よりお礼申し上げます。

誠にありがとうございました。



～ 子ども会活動報告 ～

一緒に作ろう夢を

- 開催場所：栃木公民館
地区：栃木地区子ども会育成会連絡協議会
開催日：平成30年8月1日
参加人数：62名
テーマ：一緒に作ろう夢を
概要：指導者の下で親子木工教室（自分だけの貯金箱を作る）を行い、親子の交流をはかりながら楽しいひとときを過ごしてもらった。
- 子ども達の声：貯金箱を親と作ることができ、とても楽しかった。小学生同士、お互い仲良く楽しいふれあいの場となった。積極的に親子木工教室ができ、また、指導者が積極的に教えてくれてありがたかった。
- 指導者の声：親と子が普段できない体験を、一緒にやる姿を見て、うれしく思います。また、やりがいがあります。



若木町育成会 キャンプ

- 開催場所：安らぎの森四季（湯西川）
地区：小山市子ども会連合会 北部支部若木町育成会
開催日：平成30年8月4日から5日
テーマ：若木町育成会 キャンプ
- 子ども達の声：今年のキャンプも「嬉しかったこと」「楽しかったこと」がたくさんありました。野菜の切り方や包丁の使い方など低学年の子に教えることができてみんなで協力しカレー作りができたことでコンテストで優勝できたことがうれしかったです。「ナイトイベント」「テントでの宿泊」「水でっぼう対決」などのイベントはどれも楽しかったです。6年生が多く参加してくれたので何ことにもみんなで協力することができました。今までで一番最高でした。
- 指導者の声：学校では、同学年で宿泊する学習はありますが、他学年との交流で宿泊することはないと思います。自治会の育成会で何年にも渡り宿泊するキャンプを行っています。高学年が低学年を面倒もてとてもよい経験でありその後の生活でも協力することができています。最近、カレー作りが上手でとてもおいしいです。



子どもフェスティバル

- 開催場所：栃木市寺尾公民館
地区：栃木市寺尾地区子ども会育成会連絡協議会
開催日：平成30年8月4日
参加人数：124名
テーマ：絆を深め、夏の一日を楽しく過ごす。
- 概要：中学生の代表（子ども会長）が中心となって企画・運営をした。
- 子ども達の声：小学生と中学生がお互いに仲良く楽しくゲームに参加でき、すばらしいふれあいの場になった。司会進行等、計画どおりにできた。子ども会長同士が、積極的に責任感をもって仕事をすることができた。子ども会全体で協力して、片付け等を行うことができた。とても暑い日だったので、かき氷がとてもおいしかった。
- 指導者の声：中学生（子ども会長）役員皆さんの進行がとってもスムーズですばらしかった。育成会長（保護者）を中心に役員以外の保護者の協力も得られ、準備から片付けまで滞りなく行えた。天候に恵まれ、大きなけがなどもなく、素晴らしい子どもフェスティバルだった。地域の役員の方のご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。



親子レクリエーション・ぼうじぼ作り

開催場所：さくら市ボウリング場、松山上組構造改善センター
地区：さくら市松山・上組子ども会育成会
開催日：平成30年10月21日
参加人数：約50名
テーマ：親子レクリエーション、ぼうじぼ
概要：レクリエーションやぼうじぼを通じて、地域との交流と親睦を深める。



子ども達の声：ボウリングが上手に投げられて楽しかった。
ビンゴ大会やみんなで食事ができて楽しかった。

ぼうじぼ作りは難しかったけど、地域の方に教えてもらい上手に作れた。

指導者の声：親子レクリエーションは、ボウリングとビンゴ大会を企画しました。子どもたちが楽しそうに参加してくれて安心しました。

ぼうじぼは、毎年恒例の行事ですが、材料の調達などが難しい中、作り方を教えていただける方や地域の皆様の協力のもと、今年も無事に行うことができて良かったです。

親睦会

開催場所：レストランしんめい
地区：さくら市馬場子ども会育成会
開催日：平成30年5月19日
参加人数：約50名
テーマ：新入生歓迎会
概要：ビンゴゲームやハンバーグランチを一緒に楽しみながら、新入生と交流します。



子ども達の声：ビンゴゲームが楽しかった。景品がもらえて嬉しい。
友達と遊べて楽しかった。
ハンバーグが美味しかった。
最後にお菓子をもらえてよかった。

指導者の声：たくさん参加してもらえてよかったです。バタバタと忙しかったけど、子どもたちも楽しめたようで、無事に終えてホッとしました。新入生も他の新しい友達と交流できたと思います。

チャレンジキャンプ

開催場所：唐桶宗山公園
地区：芳賀町子ども会育成会連絡協議会
開催日：平成30年8月4日
参加人数：49名
テーマ：親子でアウトドア体験
概要：キーマカレー・ナン作り、芳賀町 JLC 主催のレクリエーション



子ども達の声：焼き立てのナンがとても美味しかった。
苦手なピーマン、人参、トマトもキーマカレーにすることでたくさん食べられた。
人間知恵の輪やジャンケン列車などのレクリエーションが楽しかった。

指導者の声：チャレンジキャンプは、少子化により単独での活動が困難な子ども会のために企画した事業です。

アウトドア活動を通して、親子が触れ合う機会を創出するとともに、子ども達には地域を越えて交流を深めて欲しいと考えています。



親子レクリエーション

開催場所：氏家スカイボウル
地区：さくら市大野西子ども会育成会
開催日：平成30年11月18日
参加人数：約60名
概要：学年別、部門別のトップ賞を頭の片隅に置きながら、みんなでボウリングを2ゲーム楽しむ。

子ども達の声：初めてのボウリングだったけど、楽しくできて良かった。
また来年も参加したい。
去年よりスコアが良くなって嬉しかった。
トップ賞で名前が呼ばれてビックリしたけど、嬉しかった。

指導者の声：子どもたちの楽しそうな笑顔が見れてよかったです。保護者はもちろん、近頃の小学生は忙しく、なかなかそろって集まることができないのですが、このボウリング大会は、毎年多くの方に参加していただき、嬉しく思っています。欠かすことのできない大イベントだと改めて感じました。子どもたちに喜んでもらえる活動は続けていきたいものです。



子ども会わくわく体験キャンプ

開催場所：なす高原自然の家・那須岳
地区：那須川町青少年育成協会
開催日：平成30年8月25日・26日
参加人数：43名
テーマ：普段の学校生活とは違う体験や集団行動などを通して、自主性や協調性及び仲間との信頼関係の構築を図る。

概要：那須茶臼岳登山、カレー作り、キャンプファイヤー、スコアオリエンテーリング

子ども達の声：グループの大切さを知った（人と協力すること、助け合うことの大切さ）。山の登り方を始めて知った（登る人が優先。転がってくる石に気を付ける）。学年が違う人たちをまとめるのは大変だということを学んだ。フォローや協力、周りを楽しませることを学んだ（Jr）。自分から積極的に行動すること。笑顔など、人との接し方（Jr）。など

指導者の声：山登りを初めてしました。とても疲れたが、よい経験ができました。子どもの成長がとてもよかったです。参加者をもっと増やした方がよいと思う。なかなか経験できない登山ができて、頂上からの景色が素晴らしかった。もう少し参加人数が増えると子ども達の交流も増えると思った。



栃木市藤岡町子ども会育成会

開催場所：栃木市藤岡公民館及び藤岡文化会館
地区：栃木市藤岡町子ども会育成会
開催日：平成30年8月26日（日）
参加人数：192名
テーマ：新しいことにチャレンジしてみよう
概要：藤岡町子ども会育成会と、青少年育成に関わる団体が協力し、子ども達が様々な体験活動にチャレンジする機会を地域ぐるみで提供した。

子ども達の声：・はじめて水鉄砲をつくったので楽しかった。
・そばをきるときに少し太くなってしまったけれど上手にできた。
・先生の見本みたいに作れるようにがんばった。もっと色々な和菓子を作りたい。
・パステルカラーのリボンやかわいいお花をつけるのがすごくたのしかったです。

指導者の声：・子ども会育成会と地域で活動している様々な団体が協力することで、楽しいイベントを行うことができた。普段は挑戦できない体験活動に、子ども達はもちろん、見守る保護者も楽しんでいただけた。



子どもフェスティバル

開催場所：栃木市大平公民館、体育館、ねすみもちパーク

地区：栃木市大平子ども会育成会連絡協議会

開催日：平成30年10月21日

参加人数：204名

テーマ：こどもたちの自主性

概要：中・高生のジュニアリーダーとリーダー研修会参加者、各育成会から推薦された27名の実行委員の子ども達自らが参加型のゲームを中心に企画運営し、毎年各育成会から親子参加をはじめ、小学生が多数参加する一大イベントです。

子ども達の声：フェスティバルでやりたいゲームの内容とルールを自分達で決めました。いつも参加する方だったので、参加してもらう人にどうしたら楽しんでもらえるかを考えるのはいつもと違い、何度もみんなで話し合っ、意見を出し合っで決めました。おぼけ屋敷や迷路の準備は大きな段ボールを切ったり、イスを並べたり時間がかかって大変だったけれど、参加してくれた人達がとても楽しかったと言ってくれたので良かったです。お昼にボランティアの方々が作ってくれたカレーもとても美味しかったです。

指導者の声：リーダー研修会を経ての実行委員が多かったため、子ども達が自発的に考え、チームで行動に移していけるよう指導していきました。参加する側から企画運営する側を体感した子ども達の成長ぶりを、ぜひ今後の様々な活動に活かしていけるよう指導していきたいと思ひます。



栃木県子ども会ジュニア・リーダー大会

平成30年6月2日(土)～3日(日) なす高原自然の家

《参加者の声》

時間の管理の大切さを学んだ。

新しいレクやアイスブレイクを学べた。

疲れたけど楽しかった。休み時間がほしい。

地域や地区で、同じレクでも少しずつやり方が違うことを知った。

マインドマップは他の人のことも知れたし、自分のことも知れた。

他の地域のリーダーと一緒に活動する機会は限られているので、新鮮だった。

外から見ないと分からない自分たちのリーダーの良い点に気づくことができた。



「安全啓発初級者」養成講習会

平成30年6月24日(日) 栃木県教育会館中会議室

今回は、単位育成会の育成者やジュニアリーダー等、21名の参加者が若い方々で、現場での安全啓発指導が実践されることが期待されます。



KYT 4ステップ演習

8月7日(火)に認定委員会が開かれ初級を修了している方々の内、10人の方が認定され、全子連に登録されました。今後、地元各地での活躍を期待いたします。

第51回全国子ども会育成会中央会議・研究大会

7月14日(土)～15日(日) 名古屋ローズコートホテル
全国各地の子ども会関係者およそ350余名が参加し、下記の内容で研究協議が進められました。

栃木県からは、内藤会長、村上祥子氏、全子連ユース執行部の玉川彰宏氏、鎌田事務局長の4名が参加しました。

なお、村上祥子(県子連広報委員)さんが功労者表彰の栄誉を受けられました。



【発行】一般社団法人 栃木県子ども会連合会

〒320-0066 宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館内 TEL.028-621-1154 FAX.028-621-1124

E-mail:tochigikenkoren@ia1.itkeeper.ne.jp ホームページ: http://tochigikenkoren.or.jp/

【発行責任者】会長 内藤 進